

暮らしに役立つ情報満載!



住まいのニュース

2023
12
vol.157

今月の特集

冬を快適に過ごせる家

寒い時期は外出が億劫になりますが、その反面、おうち時間を楽しめるというメリットもあります。ですが、家が寒いと快適に暮らせませんし、暖房費もかさみます。そこで今回は、冬も快適な家づくりのためのポイントをご紹介します。

冬を快適にする 三つの要素とは

冬は寒さや乾燥、結露などの問題が起こりやすく、住まいの快適性や健康に影響を与えます。そこで、冬を快適に過ごせる家づくりのためには、次の三つの要素に注目すると良いでしょう。まず一つめは「断熱性能」です。断熱性能とは、家の外壁や屋根、窓などが、外気と内気の温度差による熱の流出や流入を防ぐ能力のこと。断熱性能が高い家は、冬は暖かく、夏は涼しいというほか、冷暖房費も節約できるメリットも。断熱性能を高めるためには、断熱材の種類や厚さ、窓枠やガラスの種類などに注意する必要があります。次に注目する要素としては、「暖房システム」です。暖房システムとは、家全体や部屋ごとに温度を調節するための機器や設備のことで、暖房システムには、エアコンやファンヒーターなどの空気を温めるタイプや、床暖房やパネルヒーターなど、物体を温めるタイプがあります。暖房システムを選ぶ際には、使用する部屋の広さや形状、家族の生活スタイルに合わせて、効率的で快適なものを選ぶことが大切です。注目すべきポイントの三つめは、「換気システム」です。換気システムとは、

家の中の空気を入れ替えるための機器や設備のことで、換気システムには、自然換気や換気扇などの単純換気と、熱交換器などを備えた機械換気と呼ばれる省エネ型換気があります。換気システムを設置する目的は、空気の清浄化や湿度調節、結露防止などです。換気システムを選ぶ際には、家の構造や断熱性能、暖房システムなどの相性やバランスを考慮する必要があります。

高断熱・高機密で 年じゅう快適な「FPの家」

このように、冬を快適に過ごせる家づくりには、断熱性能・暖房システム・換気システムの三つの要素が重要です。これらの要素を適切に組み合わせるこ

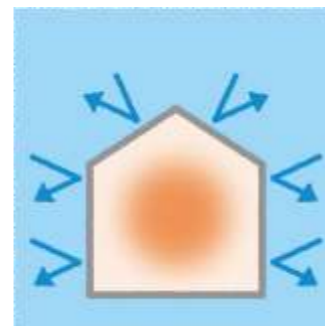
とで、冬でも快適で健康的な住まいを実現できます。

断熱性能が高く徹底した気密施工を施すFPウレタン断熱パネルで家全体を包み込んだ「FPの家」は、住み心地の良さと理想の室内空間を両立させた超高性能住宅です。高断熱・高気密の効果により、年じゅう快適な室温を保ちつつ、冷暖房費も大幅に削減。さらに「FPの家」は24時間計画換気を採用することで、結露の原因となる水蒸気等も取り除き、カビやダニの発生を抑えるとともに、大きな窓でも冬の結露が起こりにくく、一年を通じて春のような爽やかで快適な室内を実現します。そんな「FPの家」で、冬でも快適に過ごせる理想の暮らしを実現しませんか?



住まいの知恵袋

断熱材の種類と性能



断熱材とは、建物の外壁や屋根などに使われる材料で、熱の流れを遮断して室内の温度を保つ役割を果たします。一般的には、断熱材の性能は熱伝導率という値で表されます。熱伝導率とは、単位面積あたりに単位時間で流れる熱量のことで、この値が小さいほど断熱性能が高いと言えます。断熱材の種類としては、大きく繊維系と発泡系に分けられます。繊維系の断熱材の代表格となるグラスウールは、価格が安いのがメリットですが、水蒸気を含むと性能が落ちる可能性があるというデメリットも。いっぽう、「FPの家」でも採用される硬質ウレタンなどの発泡系断熱材は、熱伝導率が低く、他の断熱材にはない高い密着性があるため、極めて高い断熱性能があります。

この値が小さいほど断熱性能が高いと言えます。断熱材の種類としては、大きく繊維系と発泡系に分けられます。繊維系の断熱材の代表格となるグラスウールは、価格が安いのがメリットですが、水蒸気を含むと性能が落ちる可能性があるというデメリットも。いっぽう、「FPの家」でも採用される硬質ウレタンなどの発泡系断熱材は、熱伝導率が低く、他の断熱材にはない高い密着性があるため、極めて高い断熱性能があります。

お金の豆知識

年末調整と確定申告

年末調整は、会社が給与から源泉徴収した税金と実際に納めるべき税金の差額を調整することで、確定申告は、個人が収入や支出を申告し、納税または還付を受けるかを決めることです。医療費や寄付金などの控除を受けたいときは、確定申告をすることで、税金の還付を得ることができる場合があります。



暮らしの1ポイント

冬のインテリア



寒い冬は、インテリアに暖色系のカラーを取り入れることがポイント。赤やオレンジなどのカラーは、視覚的に温かみを感じさせてくれます。カーテンやクッションなどの小物を暖色系に変えるだけで、部屋の雰囲気がガラリと変わります。また、照明も重要な要素。暗い部屋は寒々しく感じるので、明るい照明を選びましょう。

\\できた!/ 簡単DIY

リビングテーブルをこたつにDIY



「冬はこたつが一番!」。今回は、お持ちのリビングテーブルをこたつにDIYリフォームする方法をご紹介します。こたつテーブルは、2枚の天板で布団を挟む構造になっているので、まずは、お持ちのリビングテーブルのサイズに合った天板をホームセンターで入手しましょう。そのほかに用意するのは、断熱シートと毛布、ヒーターです。こたつヒーターは、机やテーブルに後付けできる薄型にパネルヒーターが取り付けも簡単なのでおすすめです。材料を揃えたら、リビングテーブルの天板の裏に断熱シートを貼り、その上から天板の中央部分にパネルヒーターを取り付けます。あとは天板の上に毛布を掛けて、その上から新しく入手した天板を置いて完成です。

Dr.住まい

冬の水回りトラブル

冬は水回りでトラブルが起こりやすい季節。特に、凍結は家屋の損傷の原因になることも。水道の凍結を防ぐには、水道管に断熱材を巻いたり、夜間や外出時には水道の元栓を閉めるのが有効ですが、万が一、水道が凍結してしまった場合は、凍結した箇所を温かいタオルを当て、ドライヤーで温めるなどで対処しましょう。

